



《幸福の森》
1963年

野間仁根 館蔵品展

森のどうぶつたち

2024.11.16 (Sat) ▶ 2025.3.2 (Sun)

開館時間 / 9:00~17:00(入場は16:30まで)
休館日 / 月曜日(祝日の場合は直近の平日)
入館料 / 一般310円・学生160円
高校生以下または18歳未満無料
※大人団体(20名以上)250円
※65歳以上の方250円
※障害者手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料

野間仁根  バラのミュージアム
(今治市吉海郷土文化センター)



公式HP

今治市合併20周年記念事業 アートプロジェクト「光の祭典」Illuminate Festa2024

「外壁プロジェクションマッピング」

倉敷芸術科学大学 制作

2024年12月7日(土) 17:30~19:30

①17:30 ②17:50 ③18:10 ④18:30 ⑤18:50 ⑥19:10 ⑦19:30(上映時間:約5分)

※天候などにより上映を中止または延期する場合がございます。

※夜間(17:00~20:00)館内観覧無料。

野間仁根は森や海、星空など自然を題材とした作品を多く描いています。この度の企画展では、その中でも『森』に生きる動物たちが描かれた作品にスポットを当てて展示しています。森の中で群れる猿たちや水辺を飛び立つ鳥、温かい光のさす森で暮らす鹿や山猫の家族など、いろいろな動物がさまざまな表情やしぐさで描かれています。森の中で楽しく幸せに暮らす動物たちをじっくりとご覧ください。



《森の家族、鹿、山猫》1970年



《森の猿(4)》1977年



《花と水鳥》1939年



《森の猿》1968年

野間仁根バラのミュージアムのキャラクターが誕生!!

倉敷芸術科学大学の協力により当館のキャラクターが誕生しました！
 今後は《ひとねくん》と《ロージー》とともに洋画家・野間仁根の魅力を皆様にお伝えしていきます！



ひとねくん(アーティストver.)



ロージー



ひとねくん(釣りver.)

野間 仁根
 Noma Hitone

略 歴

- 1901年 2月5日越智郡津倉村(現今治市吉海町)に生まれる。
- 1919年 伯父を頼り、母と上京。
- 1920年 川端画学校で学び、東京美術学校(現東京芸術大学)に入学。
- 1924年 第11回二科展で「ランプのある静物」が初入選。
- 1925年 東京美術学校を卒業。
- 1928年 第15回二科展で「夜の床」が樗牛賞受賞。
- 1929年 第16回二科展で「ぜ・ふうるむうん」が二科賞受賞。
- 1931年 佐藤春夫作「むさしの少女」に挿絵を描く。
- 1932年 津倉村に於いて志那と結婚。
- 1933年 二科会会員に推挙される。
- 1944年 郷里(津倉村)に疎開。軍の命令で二科会解散。
- 1945年 二科会が再建され、入会。
- 1955年 二科会脱退。同年、鈴木信太郎らと一陽会を結成。その後、個展や小規模なグループ展を開催。
- 1979年 12月30日、78歳で逝去。吉海町の福蔵寺に眠る。

アクセス

愛媛県側から

- 自動車 しまなみ海道大島南ICから約10分
- バス 松山市駅/今治駅より大三島行き高速バスにて「吉海支所」下車、バス停より徒歩15分

広島県側から

- 自動車 しまなみ海道大島北ICから約10分
- バス 広島バスセンター/福山駅よりしまなみライナーにて大島BS下車、島内路線バスに乗換「幸(さいわい)」下車、バス停より徒歩10分

